

| | | | | | | | |
|---|---|-----|--------|---------|--|-------|--------------------------|
| 授業科目(ナンバリング) | ホスピタリティ演習 I (N4A201) | | | 担当教員 | 藤田 英明・高井 伸彦・神田 紘介・ 出口 雄也・波多江 日成子・引率教員 | | |
| 展開方法 | 演習 | 単位数 | 0.5 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ ラーニング の 類 型 |
| 「ホスピタリティ演習 I」は、「臨床体験学習」を主体としたヒューマニズム教育を行う科目である。 1 年次の「早期体験学習」をベースに、医療現場での体験学習を通じて、医療人としての心構えを学ぶ と共に、学習へのモチベーション向上を目指す。 | | | | | | | ②⑦ |
| ホスピタリティ を構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | | | | | | % | |
| 情報収集、 分析力 | | | | | | % | |
| コミュニケーション力 | 医療人の役割について体験し、自ら学ぶことができるようになる。 | | | | 態度・プレゼン テーション・レ ポート | 40% | |
| 協働・課題解決 力 | チーム医療における他の医療職との連携・役割分担について関心を持てるようになる。 | | | | 態度・プレゼン テーション・レ ポート | 30% | |
| 多様性理解力 | チーム医療における他の医療職と薬剤師の役割の違いについて、体験し理解する。 | | | | 態度・プレゼン テーション・レ ポート | 30% | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 「臨床体験学習」は原則参加することが必須であり、リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションを行う。事前学習・実習中の態度およびプレゼンテーション・レポートの内容を評価す る。プレゼンテーション・レポート評価の評価指標（ルーブリック）は別途配布する。 | | | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | | | | | | | |
| 「臨床体験学習」は長崎市にあるリハビリテーション病院において、実際の医療現場で特に他職種連携について見学・ 体験する。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。 | | | | | | | |
| 教 科 書 ・ 参 考 書 | | | | | | | |
| 教科書：配布プリント等 参考書：「先輩薬剤師から聞いたこれだけは押さえてほしいルール&マナー 1 版」（南山堂）（1 年次購入済み） 指定図書：「薬学生 dead or alive—薬学生、成功への鍵は…」（京都廣川書店） | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 「臨床体験学習」は実際の医療現場を体験するため、薬剤師が他者（患者・医師・理学療法士など）とどのような関わり をするのかについて考えて欲しい。また、自分が将来どのような薬剤師になるのかについて、思いを馳せて欲しい。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 | 到達目標番号* |
|---|----------|--|------------------------------|----------------|
| 1 | 臨床体験学習 1 | 事前学習 (神田・藤田・高井・出口・波多江) | 配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。 | 47, 48, 51, 54 |
| 2 | 臨床体験学習 2 | リハビリテーション病院で医療現場を体験する。(神田・藤田・引率教員) *終日 (5コマ相当) | 配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。 | 47, 48, 51, 54 |
| 3 | 臨床体験学習 3 | リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションの準備を行う。(藤田・神田・高井・出口・波多江) | 体験学習した内容について復習する。 | 54 |
| 4 | 臨床体験学習 4 | リハビリテーション病院での体験について、各グループでプレゼンテーションを行う。(藤田・神田・高井・出口・波多江) | 他のグループのプレゼンテーションの内容について復習する。 | 54 |

注) 上記の第1回～第4回は、授業の概要を示したもので、講義の回数に変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、大学 HP 掲載のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。